



平成30年度 森林税活用事業

実施状況説明資料

平成31年2月28日

長野県上田地域振興局 林務課



防災・減災のための里山等の整備事業

里山整備方針作成事業 1～8

県民協働による里山の整備・利用事業

里山整備利用地域認定状況 9～18

普及啓発活動事例 19～20

地消地産による木の香る暮らしづくり事業

「こどもの居場所」木質空間整備事業 ... 21～23

木工体験活動支援事業 24

・科学的知見を用いて防災・減災の観点からの整備の必要性が高い森林の整備を実施。

【災害の起こりやすさ】

山腹崩壊危険度
(地質・傾斜等で分類)

+

【県民生活への影響度】

保全対象との位置関係
(集落等からの距離で分類)

+

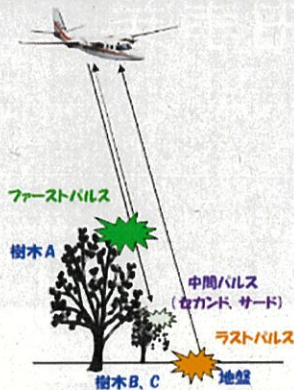
【森林整備の緊急度】

森林管理の状態
(森林の混み具合)

=

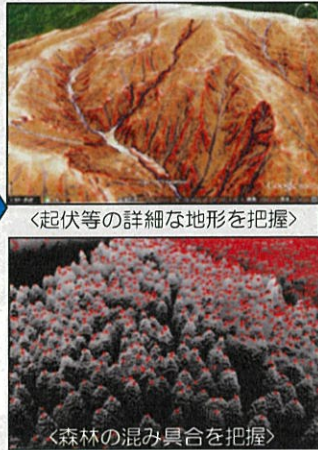
優先整備箇所

航空レーザ測量



航空レーザ測量イメージ図
(アジア航測(株)提供資料)

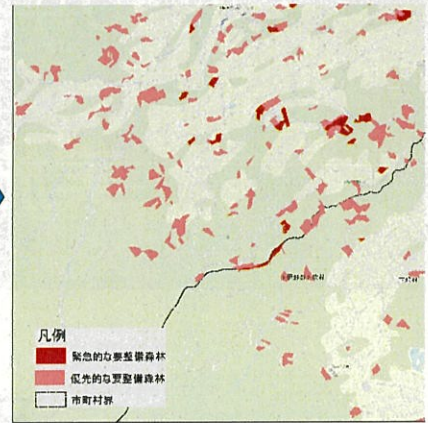
解析



〈起伏等の詳細な地形を把握〉

〈森林の混み具合を把握〉

優先整備箇所の提示

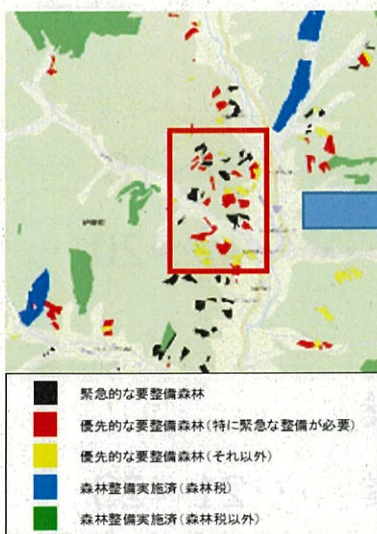


現地調査等を実施して
優先整備箇所の追加が可能

市町村長が里山整備方針を作成
優先整備箇所の「見える化」

里山整備方針の作成手順

県が航空レーザ測量等による優先整備箇所候補のデータを市町村に提供し、現地調査等を実施のうえ市町村が優先整備箇所を決定



整備の必要性の点検

- ・現地調査
- ・事業者との調整
- ・地域の聞き取り



- 里山整備方針から除外
- ・整備済み
 - ・データの錯誤等 (整備不要)
 - ・実行困難地 (係争地等)

「優先整備箇所」に決定

- ・候補箇所その周辺

- 「優先整備箇所」に追加
- ・市町村地域防災計画
 - ・既往の災害発生箇所 等

上田地域での里山整備方針作成事業

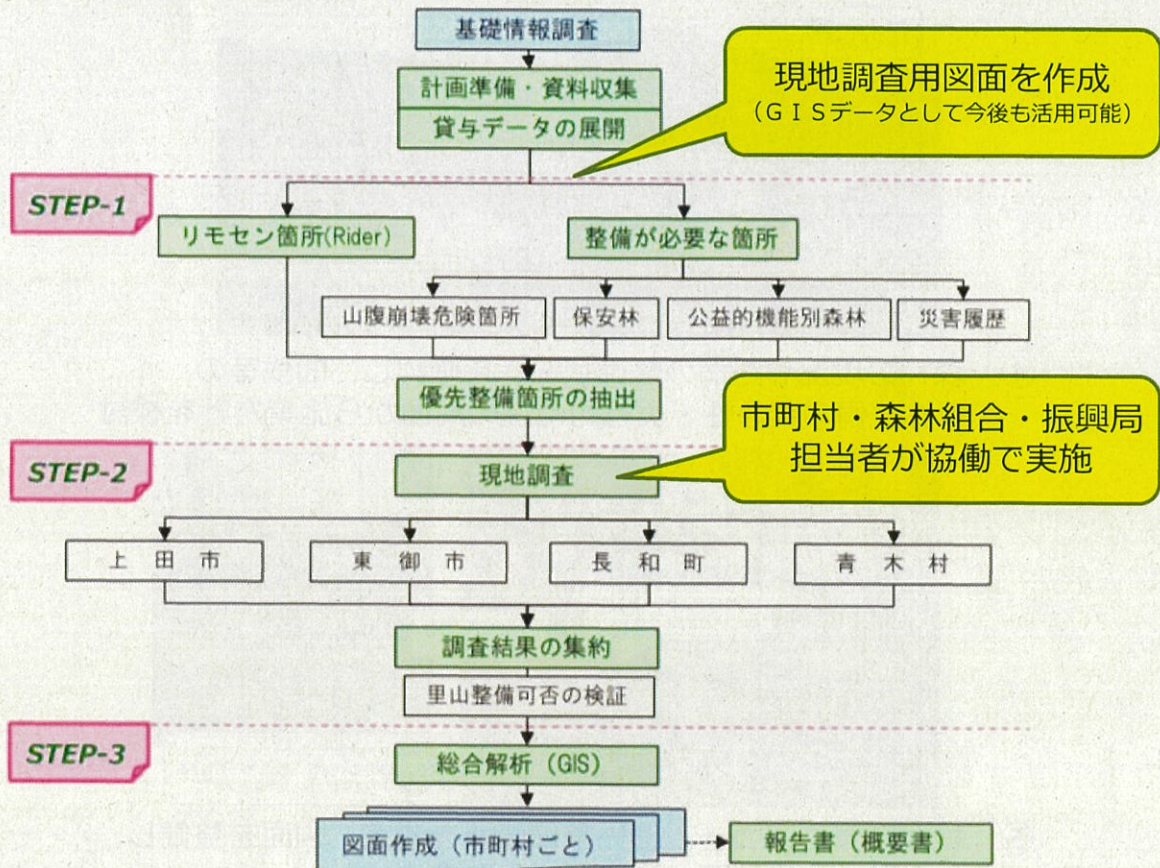
3

各市町村との連携の下、上小林業振興会が事業主体となって
効率的・統一的に凶化等の事業を実施

区分	事業内容	実施方法	
		振興会	市町村
(1) 優先整備箇所の確認、抽出	航空レーザ測量等により県が抽出した森林や災害履歴のある森林等の優先的に整備を実施すべき森林を抽出	外部委託	(情報提供)
(2) 過去の災害履歴等の情報収集			
(3) 現地調査	抽出された森林について、現地調査及び地域の聞き取り等により整備の可否等を検討	打合せ会議	
(4) 地域の聞き取り		連携して実施 (森林組合含む)	
(5) 図面作成	現地調査結果に基づき、優先的に整備していく箇所を「見える化」	外部委託	—
(6) 方針作成・公表	各市町村において、地区ごとの里山整備方針を作成し、HP等で公表	成果品提供	各市町村が実施
(7) 運用	森林税活用事業等による里山整備の推進及び方針の変更等を実施	—	

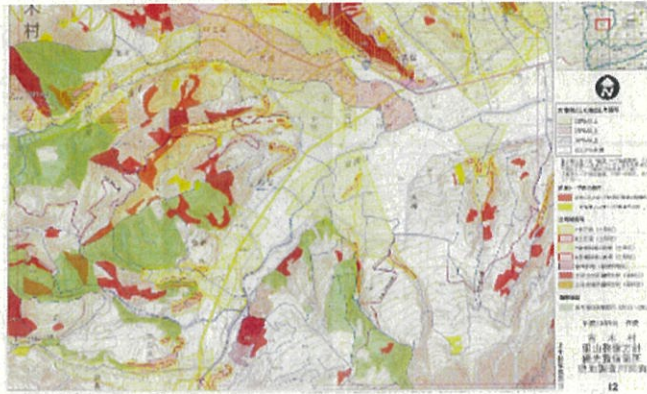
上田地域における優先整備箇所の選定方法

4



- ① 県から提供した優先整備箇所のデータのほか、法規制箇所、施業履歴、森林路網等を明記した現地調査用の図面を作成

5



- ② ①の図面をもとに、市町村、森林組合、地域振興局の担当で優先整備箇所選定のための打合せを実施



G I Sや空中写真等も活用



- ③ ②の打合せ結果を踏まえ、協働で現地調査を実施

6



- ④ 森林の現況や路網の整備状況等を確認し、間伐等の森林整備の緊急性・実行可能性の両面から施業方針を検討



- ⑤ 検討結果に基づき、優先整備箇所を決定、図面を整備し、各市町村で整備里山整備方針を作成

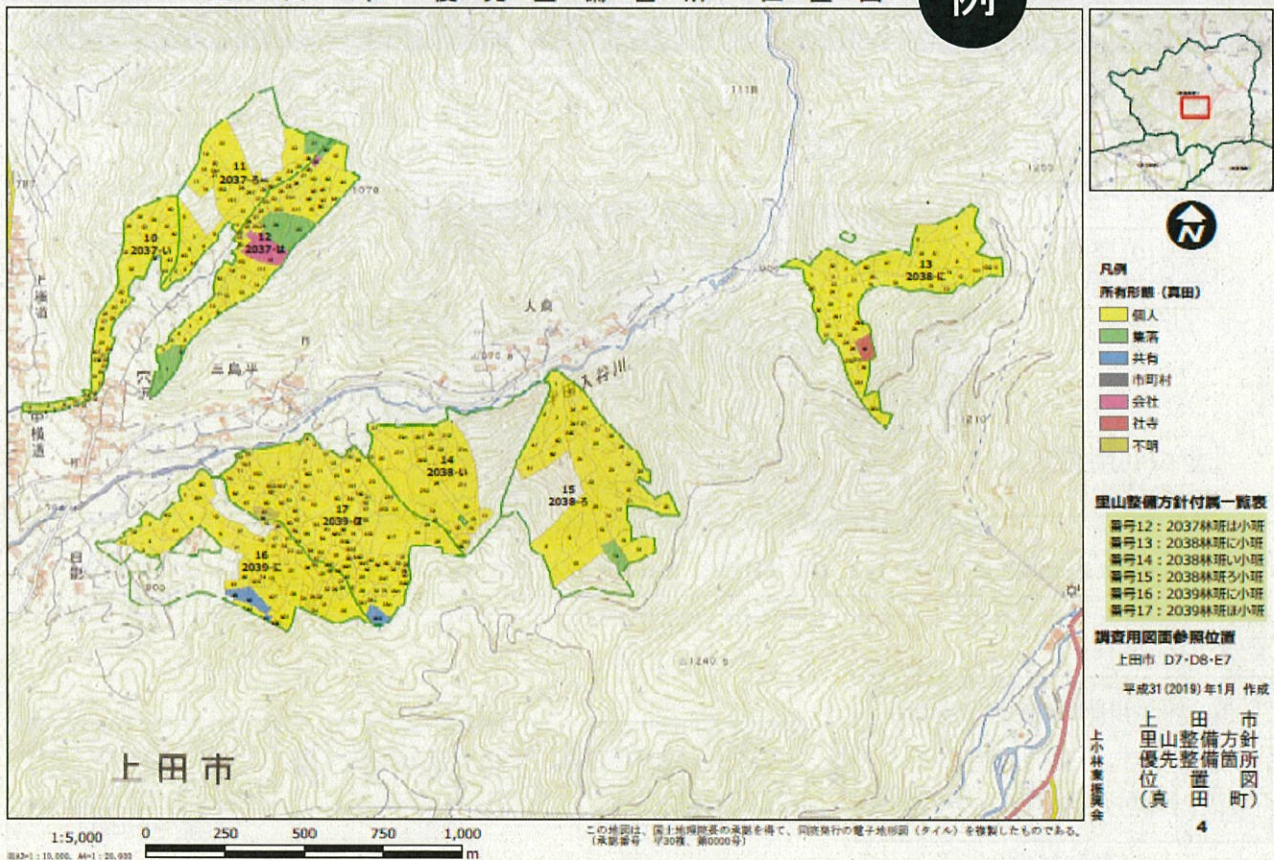
里山整備方針における市町村別面積等一覧

(平成31年(2019年)2月現在)

市町村	地区名 (旧市町村)	防災・減災のための 里山整備事業対象地		里山整備利用地域		
		優先整備 箇所数 (小班数)	面積 (ha)	認定 地域数	区域面積 (ha)	地域名
上田市	上田市	8	149			
	丸子町	1	22	2	698	霊泉寺温泉、飯沼
	真田町	19	176			
	武石村	3	21			
	計	31	368	2	698	
東御市	北御牧村	7	71			
	東部町	6	54			
	計	13	125	0	0	
長和町	長門町	16	126			
	和田村	7	70			
	計	23	196	0	0	
青木村		14	136			
上田地域合計		81	825	2	698	

上田市優先整備箇所位置図

例



設定7月1日付にこの表が始め7月1日

里山整備利用地域制度の活用（県民協働による里山の整備・利用）

【里山整備利用地域】

- ・地域住民等が自発的な活動をしようとする里山を、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づき、市町村長の申出により県知事が地域認定
- ・地域住民等は、地域協議会を立ち上げ
- ・県は、自立的・持続的な活動に向けた支援を実施（教育、観光、福祉等多様な分野との連携を促進）
- ・地域協議会に参画している森林組合等による効率的な森林整備も可能



地域協議会による活動



里山資源の利活用



里山を活用した教育



【必要な人材の育成と活用】

【県事業】

里山整備利用地域リーダー育成事業

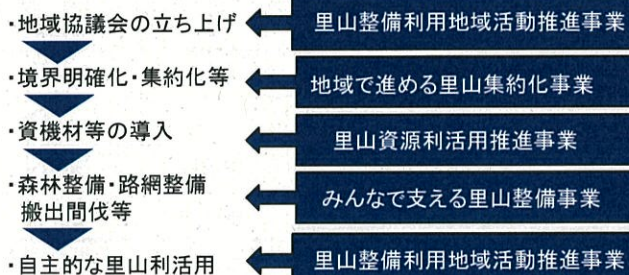
リーダーの育成

地域協議会への参画
コーディネート等

リーダーの紹介・
派遣

地域住民や利活用主体
(移住者、障がい者、教育
関係者等)への技術指導

【活動の流れ(例)と支援メニュー】



里山整備利用地域の推進体制と認定のながれ

里山整備利用推進協議会

地域の実情に応じ、森林所有者や地域住民、市町村、関係団体、企業、ボランティア、教育機関などを構成員とした「里山整備利用推進協議会」を組織

里山整備利用協定

森林所有者と里山利用者による里山利用協定を締結し、里山の利活用を促進

里山の整備利用活動の推進

里山整備利用推進協議会

認定申出の際の計画作成への参加や意見の提出

里山利用協定締結への協力

その他里山の整備利用に関する協議

想定される構成員：地域住民、森林所有者、林業関係団体、教育関係機関、企業、ボランティア等（地域の状況に応じて決定）

【認定のながれ】

里山整備利用推進協議会の意見聴取
候補地選定、事前調査、
地元・森林所有者との調整等

(市町村長)

認定の申出

(市町村長→知事)

認定の審査

(知事)

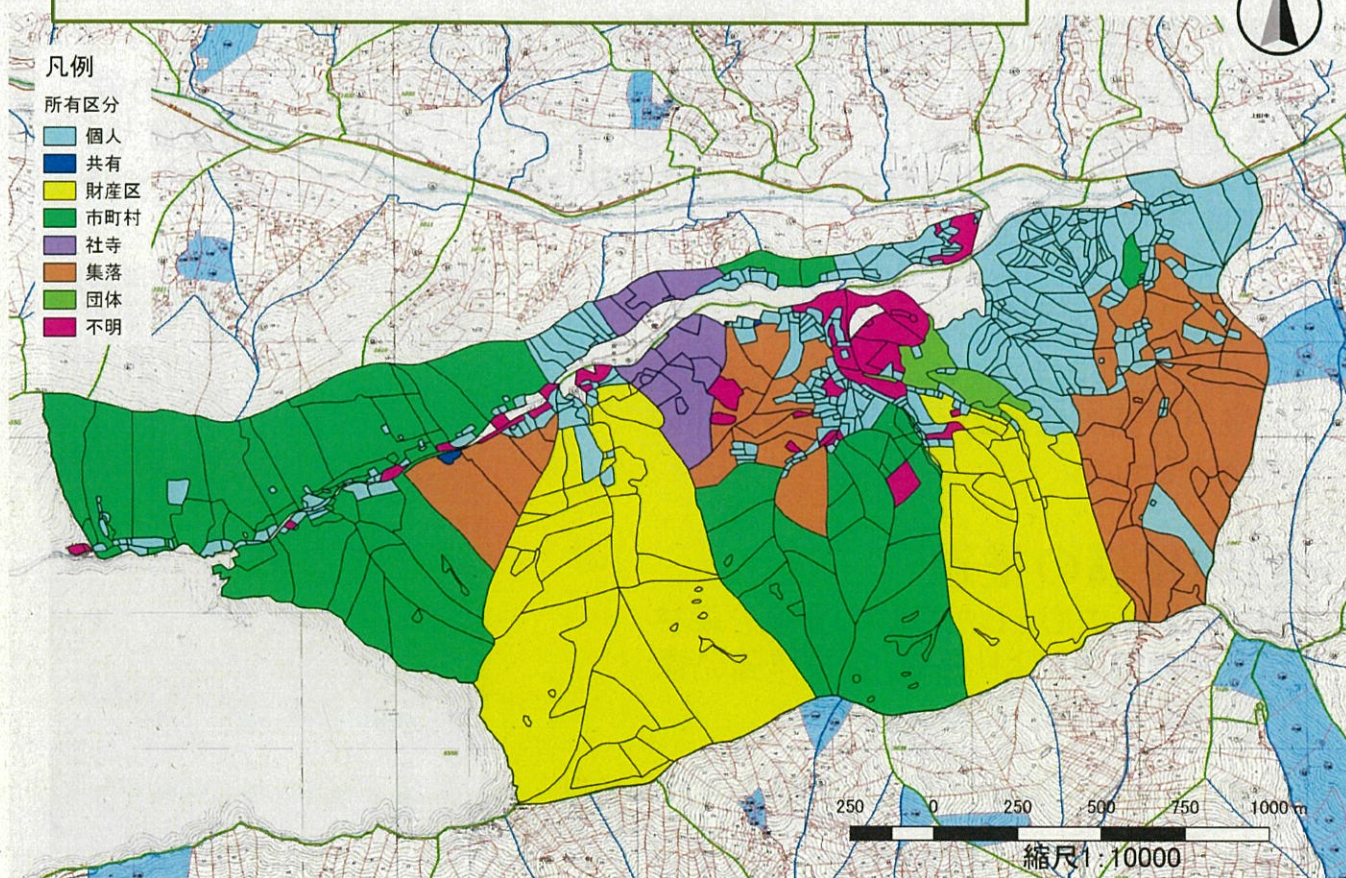
認定

(知事→市町村)

地域名及び位置	上田市霊泉寺温泉 上田市丸子平井区
中心となる集落名	平井区 (霊泉寺温泉地域、宮沢地域)
区域森林面積	489.98ha
自然環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 信州美ヶ原の北裾・三方を山に囲まれた文豪の武者小路実篤がこよなく愛し、静けさや風情がいまなお残る素朴で情趣にあふれた地域 ➤ 清らかな霊泉寺温泉川が流れ、夏休みは多くの親子が訪れ自然に親しんでいる ➤ 近年は豊かな自然を活用したネイチャートレッキングやマウンテンバイクで森林を駆け抜けるイベント等を開催し地元の住民はもとより多くの観光客の癒しの場としても活用
森林の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昔は、薪や炭、キノコの原木に利用した里山林 ➤ しかし、木材価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により、里山と人との絆が途切れ、放置されて手入れが遅れた森林 ➤ このような状況の中、地元有志で組織化された、霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトが中心となり、里山の整備や活用により、途切れかけた里山との絆の再構築が図られつつある

上田市 「霊泉寺温泉里山整備利用地域」 区域図

所有区分図





平成30年10月26日認定



現地調査



住民説明会

「霊泉寺温泉地域」の森林整備及び利用の方針等

➤ 豊かな自然に育まれた観光地としての魅力向上

静けさや風情がいまなお残る素朴で情趣にあふれた地域である当地域の魅力を更に磨き上げるために、森林内を散策できるトレッキングコースの設置や障がいのある方や子供やお年寄りなどが水辺や森林の癒しに親しめるイベントを開催

➤ 里山の資源をフル活用

キノコや山菜はもとより、薪や炭・木材など地域の資源の活用の再構築を図り、地域内循環を図る。

➤ 里山整備の推進

個人有林を中心とした森林の整備を森林組合等の協力により進め、災害に強い森林の構築を図る。



平成30年11月19日
「馬搬」研修会を開催

地域名及び位置	上田市生田「飯沼」
中心となる集落名	飯沼自治会
区域森林面積	207.6ha
自然環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 堤防沿いの桜並木で有名な依田川の東側に位置し、南側には田園、北側には、愛宕山から塩田地域の山裾の集落 ➢ 森林の斜面は比較的急峻で、かつては大雨等により度々洪水災害が発生しましたが、現在は砂防河川が整備され住民生活の安全は確保されている。
森林の状況	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 昔は、薪や炭、キノコの原木に利用した里山林 ➢ かつては県内でも有数のマツタケの産地 ➢ しかし、木材価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により、里山と人との絆が途切れ、放置されて手入れが遅れた森林 ➢ このような状況の中、地元有志で組織化された、里山環境整備プロジェクトチームが中心となり、里山の整備や活用により、途切れかけた里山との絆の再構築が図られつつある

上田市 「飯沼里山整備利用地域」 区域図

区域面積：207.6 ha





平成30年10月26日認定



17

飯沼自治会 「里山環境整備プロジェクトチーム」 の活動報告

飯沼自治会の北側に位置する私有林と飯沼神社林『里山』は、地区住民の日常生活の中で、手入れがされ守られてきましたが、近年の生活の変化により住民が里山に入らなくなったことに加え、急激な松くい虫被害の拡大により、里山の荒廃が進んでいます。

このまま放置するとますます荒廃が進み、本来里山が持つ水源や防災としての森林機能まで崩壊してしまうことが心配されるため、飯沼自治会では『古里の環境は自ら守る』との思いから、『里山環境整備プロジェクトチーム』を立ち上げ活動を始め、森林税を活用した取り組みのため、平成30年10月26日付けで『飯沼地区里山整備利用地域』として長野県知事の認定を受けました。

今後は、森林税を活用した取り組みをさらに進めていきます。



「飯沼地域」の森林整備及び利用の方針等

18

➤ 防災・減災に向けた里山整備の推進

飯沼神社林や私有林を中心とした森林整備を森林組合等の協力により進め、災害に強い森林の構築を図ります。

➤ 豊かな自然に育つ里山の資源をフル活用

キノコや山菜はもとより、薪や炭・木材など地域の資源の活用の再構築を図り、地域内循環を図る。

➤ 住民が集う、憩い ・癒しの場づくり

遊歩道や展望台、里山体験の場等を整備し、サクラ等の花木や紅葉樹、山野草を植栽して、散策や野鳥観察など、住民と絆の深まる里山づくりを進めます。

① 平成29年集中豪雨により埋塞



② 土砂撤去後【設置個所の寸法計測】



④ 完成



③ 作業中（丸太は現地の間伐材を再利用）



第23回 木と緑のフォーラム in 信州うえだ
平成31年2月7日(木) 上田市文化センター

「5つの事例から学ぶ
これからの里山の利活用術」

コーディネーター

上田女子短期大学 上原貴夫教授

- ① 里山の観光利用
霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
- ② 森林環境教育での活用
NPO法人 やまぼうし自然学校
- ③ 薪などのバイオマス利活用
西箕輪薪の会
- ④ 産学連携した里山の利活用
長野大学環境ツーリズム学部
- ⑤ 竹林の利活用
天竜川鷲流峡復活プロジェクト

霊泉寺温泉 清水理絵さん

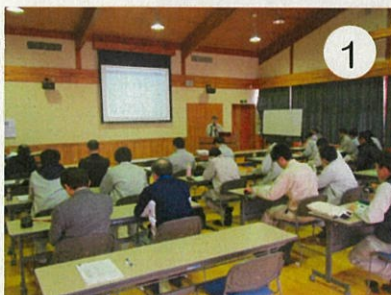


パネルディスカッション



防災・減災に向けた森林整備研修会
平成31年2月26日(火) 上小森林センター

- ① 先進地視察報告 ~兵庫県の県民緑税の取組み~
防災・減災検討チーム
- ② 技術講座 ~異常樹形の教え~
流域保全技術研究所 清水宏氏
- ③ 現地研修 ~飯沼自治会の取組みほか~
飯沼里山整備利用地域内



地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

21

社会福祉法人 海野保育園 (東御市)

園庭側の庇 (ひさし) の増築



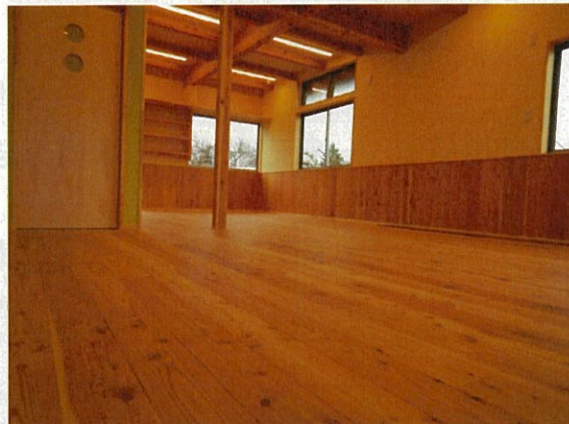
補助対象事業費 3,618,000円
森林税補助金額 1,809,000円 (1/2補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

22

NPO法人 おもいやり乙女平 (東御市)

放課後児童クラブ・おひさまこども園の内外装木質化



補助対象事業費 2,420,000円
森林税補助金額 1,210,000円 (1/2補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
「こどもの居場所」木質空間整備事業

上田市 中央子育て支援センターほか11施設

木のおもちゃの設置 13種類・60個



補助対象事業費 491,768円
 森林税補助金額 365,472円 (3/4以内補助)

地消地産による木の香る暮らしづくり事業
木工体験活動支援事業

(公財) 身体教育医学研究所 (東御市)

県産材を用いた椅子・スプーン・箸づくり



補助対象事業費 343,712円
 森林税補助金額 250,000円
 (3/4以内補助)

